

令和7年度 台東区立忍岡小学校 学校経営計画

【学校の教育目標】

－ がまん強い子 － 考える子 － 思いやりのある子 － 健康な子

○目指す学校像	・子供にとって「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」 ・地域や保護者にとって「安心して子供を預けられ、誇りに思うことのできる学校」 ・教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいがある学校」
○目指す児童像	・確かな学力を身に付け、すすんで探究し、自ら考えを表現できる子供 ・互いの人格を尊重し、をきまりを守り、思いやりの心をもてる子供 ・すすんで運動に親しみ、自分の健康を考えられる子供 ・地域を愛し、誇りに思い、将来地域の発展に貢献できる子供
○目指す教師像	・教育公務員としての自覚を高める教師 ・自ら学ぶ姿勢をもち、常に資質・能力を向上させようとする意欲と情熱をもった教師 ・組織人として他の教職員と協働して職務を遂行する教師 ・心身共に健康な教師

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
確かな学力の向上	基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、活用する力の向上を図り、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を育てる。	主体的・対話的で深い学びを充実させ、各教科等を通して基礎的な知識・技能の習得と活用する力(思考力・判断力・表現力等)及び非認知能力(意欲、行動力、コミュニケーション能力等)の育成を図る。	授業改善推進プランに基づき、根拠をもって自分の考えをもち、表現したり、適切に学習の振り返りを行ったりする授業を展開する。
		一人1台端末を積極的に活用し、リアルとデジタルを効果的に組み合わせた授業実践を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの推進を図る。	地域(こども園を含む)の人的・物的な教育資源を「学びの環境」として積極的且つ効果的に活用する授業を展開する。
			対面学習とオンライン学習を柔軟に活用し、個別化された学習や協働的な学習ができるよう工夫した授業を展開する。
			ICT機器を活用したスタディ・ログ(学習履歴)の把握に取り組み、指導と評価が一体化された授業を展開する。
豊かな心の涵養	自他の人権と生命を尊重し、自分とともに他者を大切にすることを心掛け態度を養う。	落ち着いて生活したり、安心して学んだりできる環境を整え、豊かな関わりの中で自己肯定感や自尊感情を高める。	規範意識を向上させ、規律ある態度を養うため、挨拶を始めとした基本的な生活習慣、学校のきまり、マナーの定着を図る指導を日常的に行う。
		全教育活動を通じて人権教育と道徳教育を推進し、自他を大切にすることを心掛け態度を育む。	いじめに関する研修を実施し、教職員のいじめへの対応力を高めるとともに、各学級でいじめに関する授業を行う。
			児童の実態に応じた重点指導内容項目を設定して、多様な視点からの話し合いを通じて、よりよい生き方を考える道徳科の授業を展開する。
健康な体の育成	体力・運動能力の向上を図るとともに、健康な体づくりへの興味・関心を高める。	主体的に運動に取り組む態度を培い、発達段階に適した体力・運動能力の向上を図る。	体力・運動能力調査を分析して実態を把握し、運動の楽しさや運動の特性を味わわせる体育科の授業改善に取り組む。
			体育昼会や運動月間、持久走記録会などの体育的なプログラムを工夫し、運動や体づくりの日常化を推進する。
		自分の体の変化に気付いたり、生活習慣を振り返ったりすることにより、生活習慣の改善への意識を高める。	発達段階に応じた保健指導や食育指導(給食指導)を実施する。
家庭・地域・外部機関等との連携	地域・保護者・外部関係機関と連携し、風通しのよい透明性のある学校づくりを推進して地域に開かれた学校を実現する。	地域の人や施設等との関わりから、地域に愛着をもち、誇りに思う心情と態度を育てる。	地域の人との交流や外国人との交流を通じて、伝統・文化に関わる教育や国際理解に関する教育を行う。
		学校の方針や様子を積極的に発信し、地域・家庭の理解と協力のもと、円滑に学校運営を行う。	上野公園等、地域で行われる行事やイベントへの参加、施設を活用した学習や活動、地域の人と関わる学習や活動等を行う。 学校公開、学校だより等の通信、メール配信、HP、掲示板等により積極的に情報発信を行う。